

深小だより 新年度を迎えて

三原市立深小小学校
校長 松島 恵子

三月十八日(日)第七十一回三原市立深小小学校卒業証書授与式を、多くのご来賓のみなさまのご臨席を賜り、盛大に挙行することができました。十五名の卒業生が、それぞれの進路に向かって胸を張って巣立っていきましました。また、二十三日には、修了証書授与式を行い、平成二十九年年度を終了することができました。

この一年間、学校教育活動にいつもご支援・ご協力いただきました地域や保護者のみなさまに、心より感謝申し上げます。

さて、四月一日からは新年度の始まりとなります。この度の人事異動で、職員の移動がありましたので、お知らせいたします。

◇転出する職員

教頭 平賀 智明
三原市立須波小学校へ

◇離任する職員

教諭 上保 龍治

◇転入する職員

教頭 世良 幸枝
福山市立千年中学校より

全校四十九名でのスタートとなります。三・四年複式学級となり、教職員数が十一名と、一名減ります。

今年度は、七名の新入学児童を迎え、「思考力・判断力・表現力」「主体性」「自らへの自信」「郷土愛」を高めるべく、さらに豊かな教育活動が推進できるようにこの十一名でチーム深として取り組んでまいりたいと思っております。今年度も、よろしくお願ひ申し上げます。

深町子どもを守る会

子どもをみんなで 守りましよう。

深小の子どもは



○午後四時過ぎに下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましよう。

○あいさつ 声かけをましよう。

児童会の会長になって

柿迫 颯歩

ぼくが児童会の会長になりました。
ぼくの公約は、「あいさつを大きくする」と、「時間を守る」です。

一つ目の「あいさつを大きくする」を公約にしたのは、最近、お世話になってる方や地域の方へのあいさつの声が小さいからです。だから、ぼくは自分からあいさつをしていきます。

二つ目の「時間を守る」ためには、朝会や三時間目の始めなど、五分前に素早く行動していきます。ぼくは、積極的に目標に向かって前進していく児童会の役員の姿に、学校のみんながあこがれを感じてついてくるような、そんな児童会をめざします。



「あいさつと心くばりがあたりまえの学校にする」

松岡 琴末

私は児童会の副会長になりました。
私の公約は、「あいさつと心くばりがあたりまえの学校にする」です。

一つ目の「あいさつがあたりまえの学校にする」というのは、友だちや先生、地域の方にいつでもあいさつをしていくということです。あいさつがあたりまえにできると、一日がんばろうという気持ちになれると思うからです。

二つ目の「心くばりがあたりまえの学校にする」というのは、困っている人に積極的に声をかけていくということです。周りの人の様子に気を配って声をかけると、やさしさあふれる学校になると思うからです。

私は、これまでの六年生の児童会が残してくれたよさを引き継いで、深小学校をすばらしい学校にしていくよう努力します。



児童会の副会長になって

柏原 琴衣

私の公約は、「大きな声で明るくあいさつをする」と、「楽しい学校にする」です。

そこで私は、階段や廊下などですれ違った人とも積極的に笑顔であいさつをすることに取り組みます。そうすれば、あいさつをした人もあいさつをされた人もうれしい気持ちになるし、あいさつされた方も気持ちよくあいさつを返すことができます。深小小学校に笑顔がわいてきます。あいさつがどんどん広がります。そうすると、二つ目の「楽しい学校にする」につながっていきます。学校を楽しんでいると感じれば、明るい学校になると思います。

私は、これから、下級生の手となるように一生懸命がんばります。



「どんな人ともあいさつ、遊ぶことのできる学校」

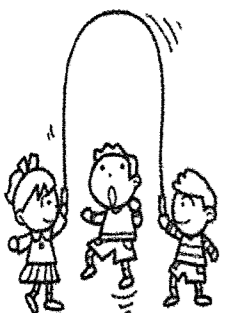
谷口 勇翔

ぼくは、児童会の書記になりました。

ぼくの二つ目の公約は、「だれにでもあいさつができること」です。というの、朝、地域の方や交通指導に立ってくださった保護者の方や教頭先生にあいさつをする人が少ないからです。あいさつができるようにするために、ぼくたち児童会が朝のあいさつ運動をがんばります。そうすれば、みんな、あいさつをすることに慣れて、自然にあいさつができるようになると思います。

ぼくの二つ目の公約は、「だれとでも仲良く遊ぶことができること」です。今、一年生は一年生と、二年生は二年生と、いうふうに、同じ学年だけで遊ぶ人が多いからです。みんながだれとでも仲良く遊ぶことができるようにするために、児童会遊びを増やします。児童会遊びは全校で遊ぶので、児童会遊びを増やせば、みんながだれとでも遊ぶきっかけになると思います。

ぼくは、書記だからといって書記だけをするのではなく、会長や副会長の仕事もやるぐらいの勢いで児童会をがんばります。



謹んでお悔やみ申し上げます

秋 永典 雄 様 九十一歳
(下組 二班) 二月二十七日
西本 カズエ 様 九十一歳
(上組 西側講) 三月十八日

深町各種団体四月行事予定

- ◆連合町内会
- ▼定期総会 一五日
- ◆上・中・下町内会
- ▼定期総会 八日
- ▼小学校
- ◆PTA理事会 四日
- ▼就任式 一学期始業式 六日
- ▼入学式 九日
- ▼学区児童会 一〇日
- ▼登校指導 一一日
- ▼一年給食開始 一二日
- ▼参観日 学級懇談会 一四日
- PTA総会
- ▼全校一斉下校 下校指導 一六日
- ▼全国学力学習状況調査六年 一七日
- ▼家庭訪問 一九・二〇日
- ▼子ども読書の日 二三日
- ▼ぼけつとさん 二六日
- ▼春の遠足 二七日
- ◆如水館中学・高校
- ▼始業式 一日
- ▼入学式 九日
- ▼(中三) 全国学力調査 一七日
- ▼(中) 参観授業 二〇日
- ▼全校朝会 二四日
- ▼運動会 三〇日

消防団からのお知らせ

三原市消防団 深町分団 小川 和彦

うららかな春の日差しが心地よい今日このごろ、町内の皆様には日頃より消防団活動にお力添えを賜り心より感謝しております。

さて、新年度(平成三十年四月一日)よりの分団長並びに新入団員の紹介をさせていただきます。

分団長 迫 強介(下組二班)
新入団員 井手上 達也(上組西側)
西本 龍(上組西側)



今後ともご高配を賜りますようお願い申し上げます。

お詫び

二月三月号で発刊番号に間違いが有りましたので、今月号より訂正させていただきます。申し訳ありませんでした。

『栖本郡代 石原太郎左衛門之事』
第四回

小左衛門は、大矢野に立寄りキリシタン四五人連れ、「ころび証文」を取り戻しに行つたのは、『此の書物（ころび証文）取り戻し申さず候ては、きりしたんに立帰り申す事成らざる教えにて御座候。』とあるように、キリシタンに復帰するには、どうしても取り返さねばならない重要な証文であつたのである。それと、小左衛門は、太郎左衛門の娘を、養女としている事で親類となつていて極めて親しい間柄にあると『四郎乱物語』で記す。しかし、小左衛門は、二十八歳で妻の福は（天草四郎の姉）二十二歳なので、若い夫婦の養女とする事は考えにくい。また、小左衛門が宇土の江辺に住んでいた天草四郎の母や姉の家族を天草に連れに行った時、細川藩に、共に捕えられたが、太郎左衛門の娘らしき人物は現れていないし、その後の記録にも、それらしき人物は見えない。太郎左衛門は、この事を、直に富岡城の番代三宅藤兵衛に注進すると共に、細川藩に加勢を要請するなどの行動を取り、更には、栖本と有明町（下津清村）との境界の峠（草積峠）に番屋を設け、牢人吉田十左衛門に足軽五人と河内村の庄屋・年寄などを添えて警戒させ、栖本に入ろうとした下津浦の乙名を鉄砲で射殺してもいる。寛永十四年（一六三七）十一月十三日には、天草のキリシタン勢と島原のキリシタン勢が上津浦に集結するが、石原太郎左衛門の子息小太郎（八兵衛の事か）が、富岡に向き、楠本への援軍を要請している。「公等（三宅藤兵衛外の部将）は、吾父（太郎左衛門）を法なるが為、師を乞うとなすか。苟も君命を受け栖本を守るもの、まだ一戦も交えずして退去するが如き事あらば、何の面目有りて再び藩公に謁するを得んや。若し聞かれずんば、父子、枕を並べて死せんのみ。」と堂々の口上を述べ、岡嶋七郎左衛門（二千石の身）組下の百余人と四十挺の鉄砲を援軍として栖本へむかわせている。この時の小太郎は弱冠十六歳とある。翌十四日には、キリシタン勢と寺沢藩が島子で激突し、栖本からも、岡嶋七郎左衛門の組下勢と共に太郎左衛門も出陣しているが、太郎左衛門は「御預候御城之儀と申、罷帰候。」すなわち、栖本城の事が大事だとして栖本へ帰り、「取る物も取りあえず城を明け砥岐島の内御所浦と言う所に落ち退きけり。」とある。この時も、息子の久兵衛は、『城を明け退くまじ』と主張するが、太郎左衛門は聞き入れていない。

う場所。青木秀穂遺稿集「天草郷土史譚」P47。（十一月十三日は、富岡へ唐津からの援軍が到着し、「栖本の軍も合体する」事が話し合われている。）

※⑭ 寺沢藩士による「天草一揆書上」P17。（岡嶋七郎左衛門の「申上條」）

TBG協会だより

第七十七回三原市
ターゲット・バードゴルフ大会

第七十七回三原市TBG月例会が三月十一日（日）深町・城山コースにて行われました。



成績は次の通りです。

- 一位 金子 勝彦
- 二位 井上キヨコ
- 三位 天木 雅之
- ベスグロ七十一 金子 勝彦
- 二人組戦 石井 張司 藤田千代子

次回大会は四月二十二日（日）に実施します。

第八回世羅町

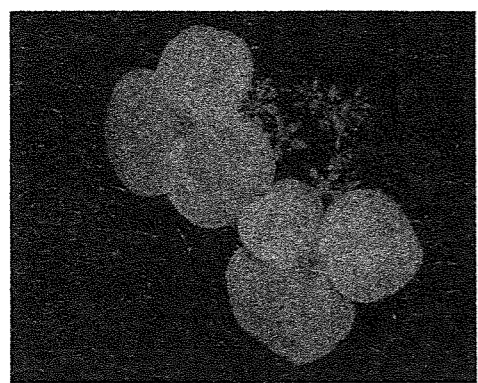
チャンピオンズカップTBG大会

第八回世羅町チャンピオンズカップTBG大会が三月十八日（日）世羅町小谷スポーツ公園東側にて行われました。
三原TBG協会からは金子勝彦一名が参加しました。

※選手の敬称略
TBG事務局 天木 雅之

深町の植物

金石 卓夫（三原市宗郷）



《コガクウツギ》

花のように白く目立つ部分は装飾花のガクで、この部分がさらに大きいコガクウツギよりは小さいため、コガクウツギと名付けられました。ようです。

※五月二十一日撮影

歩く会にご参加を

歩く会幹事 石井 堂照

瀬戸田町 耕三寺周辺



月 日 四月三日（火）
予備日 四月四日（水）

行程
八時 三〇分 深町上組公民館発（車）
九時 三〇分 須波港より沢港へ
十時 三〇分 耕三寺周辺探訪
十二時 三〇分 探訪終了 昼食
十四時 〇五分 沢港より須波港へ
十五時 〇〇分 深町上組公民館着（車）

深小遺今昔ものがたり（六）

がんばった自伸学習（二）

尾道市美ノ郷町 石井 哲代

前号でも書かせて頂いた『自伸学習』の事も一度書かせて頂きます。

算数・国語・音楽・の三教科を自伸学習でして、自ら学ぶ力を養おうと取り組みました。算数の先生から「よく見てやってくれ。」と或る子の事を言われました。授業中、注意して見ていると、掛算九九に行詰っておりました。一桁の掛算が分ってないので、二桁も三桁も、ますますです。行きつまつていた箇所が、はっきりしたので、掛算の九九表を見て、自分で計算が出来るようになりました。二桁、三桁の位どりが分り計算が出来たのです。それこそお腹の底から「万歳」が叫び出たと思います。

							6	7	8	9	10	11	12
							12	14	16	18	20	22	24
							18	21	24	27	30	33	36
							24	28	32	36	40	44	48
							30	35	40	45	50	55	60
							36	42	48	54	60	66	72
							42	49	56	63	70	77	84
							48	56	64	72	80	88	96
							54	63	72	81	90	99	108
							60	70	80	90	100	110	120
							66	77	88	99	110	121	132
							72	84	96	108	120	132	144

後に詩に書いておりました。ねたかない程算数がおもしろい ポン ポン ポン 時計が三時を打つ 三月が山の端で笑っている。

こんな詩を書いてくれました。教師冥利につきる深小の学舎です。

高齢者相談センター

どりにむだより 電話 六一一四四一

ご存知ですか？高齢者相談センター

高齢者相談センター（地域包括支援センター）は六十五歳以上の皆さんが、住み慣れた地域で自分らしくいきいきと生活できるように、高齢者の総合相談窓口として市内に五か所設置されています。高齢者相談センターでは、保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士などの専門職を配置し、高齢者の総合的な支援を行います。

高齢者相談センターどりにむだの事務所は、中之町の三原病院内にあります。

わたしたちの担当区域は、
深町、中之町、中之町南、館町、東町、本町、駒ヶ原町、西町、港町、宮沖、円一町

自立して生活できるように支援します
介護保険の認定を受けた。体が痛いので家の掃除や買物が十分にできず困っている。一人で家のお風呂に入るのには不安がある。離れて暮らす親の世話が大変。生活支援が受けられないだろうか。高齢になっても元気になりたいので、その方法が知りたい。薬の飲み忘れが増えている。きちんと飲める良い方法はないだろうか。

皆さんの権利を守るよう支援します
もの忘れがひどく、頼れる家族が身近にいない。これから先のいろいろな手続きやお金の管理など、みてくれる人がいないので心配。いつも衣類が汚れている。家族と一緒に暮らしているはずなのに……。

様々な相談に対応します
いきいきサロンで血圧を測るといつも高いが、かかりつけ医がいなくて最近、同じことを何度も話すし怒りっぽくなってきた。これって認知症……？

様々な方面から皆さんを支援します
入院しているが、退院するよう病院から言われた。帰ってから、家のことを一人でできるか心配。隣の人から「物を盗られた！」と責められる。何とかならないか……。ゆくゆくは施設入所も考えているので、金額や条件など情報を教えてください。

高齢者相談センターどりにむだでは、高齢者の日常生活上のあらゆる相談に応じています。お気軽にご相談ください。（相談は無料です）